

はぐくむFUJI少子化対策プラン を策定しました

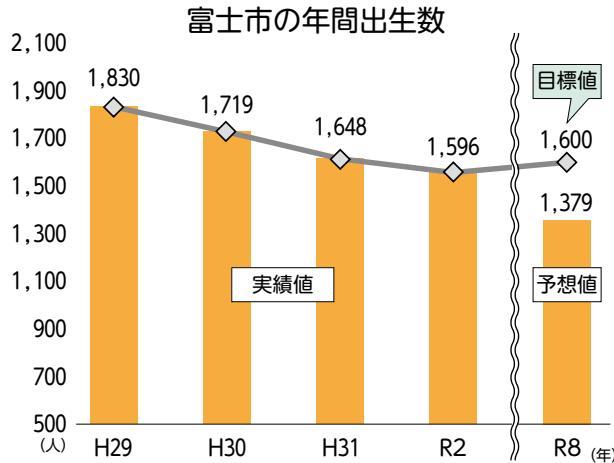


HAGUKUMU
FUJI

めざす将来像

若い世代が結婚・妊娠・出産、子育ての希望を実現でき、
すべての人がいきいきと安心して
子どもを生み育てることができるまち ふじ

市は、多くの市民が、家庭を持つことや子どもを生み育てることの喜びなどを実感できる社会を創造するため、はぐくむFUJI少子化対策プランを策定しました。



基本目標2
令和8年度の年間出生数
↓1600人

※希望出生率は、出産や育児などの希望がかなう場合に想定される出生率。
令和8年度の希望出生率
↓2.0

基本目標1
令和3～8年度

プランの期間
令和3～8年度

少子化対策プラン

プランの背景

◆富士市の人口減少

市の人口（4月1日現在）は、平成22年の26万1573人をピークに減少を始め、令和3年は25万1616人となりました。

◆少子化の進行

・富士市の少子化は、「婚姻数の減少」、「未婚化の進行」、「晩婚化の進行」、「晩産化の進行」などが主因であると分析しています
・それらの主因は、「結婚への意欲・機会の減少」、「経済的・生活基盤の弱さ」、「仕事と家庭の両立の困難さ」などの社会的要因の影響を受けていると考えられます

施策の展開

「めざす将来像」を実現し、基本目標を達成するため、次の4つの施策を展開します。

①結婚・妊娠・出産、子育ての希望が実現できる環境づくり

・若者の経済基盤の安定と雇用対策
・結婚に対する取組への支援 など
②安心して子どもを生み育てることができる環境づくり

・地域全体で支える子育て
・子育てしやすい環境づくり
・子育て家庭の経済的負担の軽減
・多子世帯への支援
・ひとり親世帯への支援 など

重点施策

③仕事と子育てを両立できる環境づくり
・子育て支援に取り組む企業への支援
・妊娠・出産・子育てをしながら働き続けることができる環境づくり など
・女性が活躍できる環境づくり など
④結婚・出産・子育てに関する情報発信
・様々な情報基盤を活用した情報発信
・デジタル変革の推進 など

このプランは、少子化の主因に基づき体系的に施策を展開していきますが、富士市の特徴を踏まえ、最優先課題として、次の3つの施策に重点的に取り組みます。

重点施策1

子どもを授かることを願う人への多様な支援

重点施策2

若い世代（特に女性）のふるさと回帰、移住・定住支援

重点施策3

ひとり親世帯への充実した支援

プランについて
詳しくはこちら

